

大坂正明さんの命と健康を守りぬこう
劣悪な獄中医療、獄中処遇の変革を
東京拘置所は大坂さんの鼻の治療を行え

要望書集めにご協力をお願いします

1971年11月14日、沖縄返還協定批准阻止のデモが東京・渋谷で闘われました。ペテン的返還に反対し全島ゼネストで闘う沖縄労働者民衆と連帯するデモでした。大坂正明さんは、デモ隊との衝突で機動隊員1人が死亡した件で「殺人罪」をでっち上げられ、46年間も指名手配されてきました。2017年6月に逮捕・起訴されましたが、一貫して無実を訴え争っています。

すでに東京拘置所に勾留されて4年以上がたちます。2019年の夏、片方の鼻がつまったので医師に診てもらったところ「ポリープができています。東京拘置所では手術できないから、外に出て耳鼻科の病院へ行くように」と言われました。2020年1月には両方の鼻がつまってしまいました。鼻で呼吸ができないとして「手術願い」を出しましたが、東京拘置所は二度にわたり不許可としました。外部医師の助言に基づきステロイド点鼻薬の処方を求めるも、当局は「扱っていない」という理由でこれを拒否し、今に至るも医療放置を続けています。

大坂さんは現在、鼻呼吸ができません。2年以上もこの状態で苦痛を強いられているのです。大坂さんは現在72歳です。長期未決勾留自体が苛酷な人権侵害である上、鼻呼吸ができない状態で放置されるのは拷問に等しい処遇です。これまで2500通を超える要望書を集め、東京拘置所に提出してきました。東拘は大坂さんの鼻のポリープ治療を行うべきです。

国・法務省の獄中医療に対する姿勢は、コロナ禍で明らかになった労働者民衆の命と人権を軽んじるあり方の極致です。それは戦争・改憲への動きが強まる中で、ますます激しくなっています。いまこそ獄中医療の変革を通して社会の根底的変革を闘いとる時です。

東京拘置所に大坂さんの鼻の手術・治療を求める「要望書」を集めています。職場・学園・地域で要望書を集め、大坂さんの命と健康を守り抜こう。改憲・戦争を許さない闘いを強め、なにより沖縄闘争を闘いぬいて大坂さんの裁判に勝利しよう。

2022年1月15日

要望書は FAX か郵送でお送りください。書式はブログからダウンロードできます。

大坂正明さん救援会

連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
電話 03-6822-5049 または 080-5509-9321(杉浦)
FAX 03-3591-8226
Eメール : oosakaqen@yahoo.co.jp
ブログ : oosaka1114.blog.jp